

## 2021 年度

## 総合学力評価テスト 文系総合

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

1. 問題冊子は<sup>かんとくしや</sup>監督者の指示があるまでは開いてはいけません。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に**受験番号**と**氏名**を記入してください。問題冊子は**受験番号**のみを記入してください。
3. 試験問題の内容に関する質問には答えられません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
5. 解答用紙は持ち帰らないでください。
6. 漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

受 験 番 号	
------------------	--

1 桜美林中学校の合唱コンクール委員の委員長と副委員長、そして先生は、合唱コンクールの準備のために話をしています。〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(4)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

先生 「いつものホールで去年の春から約2年の大規模な改修工事が始まりました。そのため、冬の合唱コンクールは別のホールを使います。」

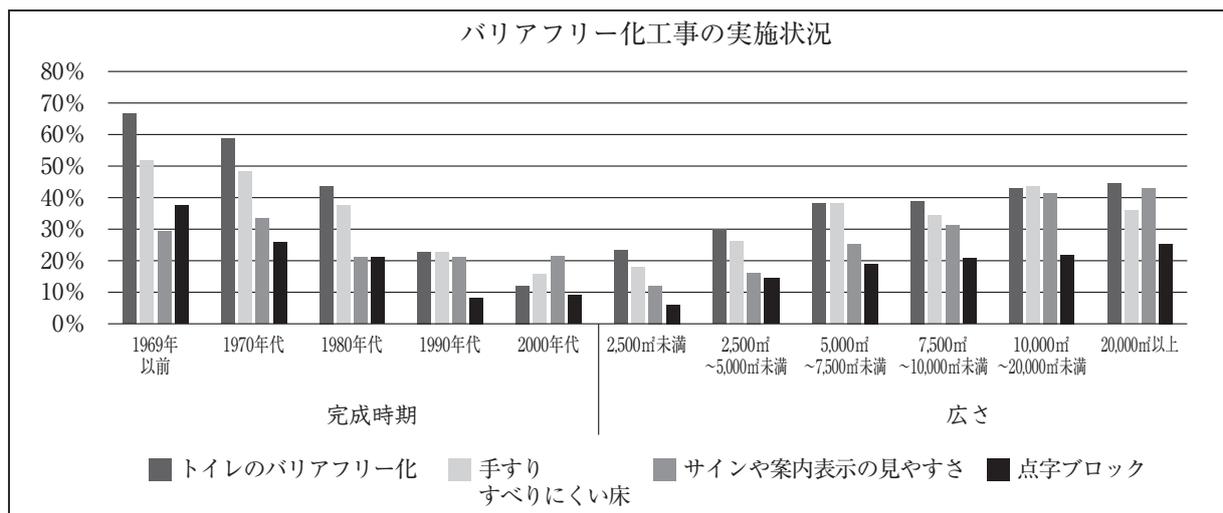
委員長 「改修が必要な古さだったのですか？」

先生 「もちろん古いから、という大規模改修の理由もあると思います。その他にも市の管理下にあるホールには、音楽施設というだけでなく、公共施設としての役割や防災拠点としての役割、そしてだれもが使いやすい施設である必要があり、新しい設備が必要な場合もあります。」

副委員長 「そうなのですね。音楽施設としてしか考えたことがありませんでした。」

先生 「例えば、ここにある、〔資料1〕はバリアフリー化のアンケート結果になります。」

〔資料1〕 各地方公共団体が管理するホール、音楽施設等に対するアンケート結果  
アンケート内容「開館以降に新たに実施したバリアフリー化工事」（複数回答可）



（「劇場、音楽堂等の設置・管理に関する実態調査報告書」（平成28年度文化庁委託事業）より作成）

(1) 〔資料1〕から読み取ることのできるものとして、次の①～④の説明のうち、正しいものには○、まちがっているものには×をそれぞれ答えましょう。

- ① 完成時期で見ると、多くの項目で完成年が古いほど、新たにバリアフリー化工事を実施するホールの割合が高い。
- ② ホールの広さで見ると、面積が広くなるほど、「点字ブロック」を新たにバリアフリー化工事し、設置するホールの割合は低い。
- ③ 2000年代に完成したホールの新たなバリアフリー化工事の内容は、「手すり・すべりにくい床」の割合が最も高い。
- ④ 10,000～20,000㎡のホールでは、「トイレのバリアフリー化」「手すり・すべりにくい床」「サインや案内表示の見やすさ」の3つの項目を新たに工事した割合が、50%をややこえている。

- (2) トイレのバリアフリー化に関して、開館以降に新たにバリアフリー化工事をした施設の割合が、新しい施設ほど低いのはなぜだと考えられますか。その理由を書きましょう。

〔会話文2〕

副委員長 「今年のホールは、学校から近いので、1年生は迷わず集合できると思います。」

委員長 「それに、場所が近いので、開始時刻を早めることもできるのではないかと思います。3年生がA組からE組までの5クラス、2年生がA組からF組までの6クラス、1年生がA組からE組までの5クラス、と去年よりもクラスの数が多いので、公演時間も変わってくると思います。」

先生 「そうですね。準備と片付けの時間も考え、今年はホールを11時から17時まで使用できるようにしました。〔資料2〕の去年の記録と反省を参考にしながら当日の流れを作りましょう。」

副委員長 「各クラスの合唱の時間は5分、入場の時間が2分、退場の時間が2分というのが去年の記録です。」

委員長 「では、今年も①合唱の時間と入退場の時間は同じもので進めましょう。また、新しくクラスの紹介や曲紹介を入れてみたいです。」

副委員長 「クラスが入場した後、合唱コンクール委員がマイクを使って紹介しますか？」

先生 「2分くらいかかりそうですね。」

副委員長 「もしくは、入場と同時に、ちがうクラスの委員が、舞台のはしからマイクで紹介するのはどうでしょうか？」

先生 「なるほど。その方法だと、合唱の時間と入場の時間に追加の時間がかかりませんね。」

委員長 「では、入場時に他のクラスの委員が紹介文を読むことにします。」

副委員長 「去年の記録をみると、全生徒の集合時刻が合唱コンクール開始の30分前になっています。また、15分の休み時間が2回あります。」

先生 「各クラスの出欠確認や移動もあるので、今年もコンクール開始の30分前の集合がよいでしょう。」

委員長 「休み時間も、15分を2回で去年と同じにしましょう。」

副委員長 「それから、去年の表彰の時間は15分でした。」

委員長 「バタバタしてせっかくの金賞受賞クラスの感想も聞けませんでした。今年は表彰時間を30分にします。」

先生 「よし！ では去年の当日の流れや反省点を参考にしながら、今年のものを作ってみましょう。」

〔資料2〕 去年の合唱コンクール委員による記録と反省点

- 合唱コンクール委員は、準備のため全生徒集合の30分前にホールに集合した。しかし、準備の時間がたりなかったので来年は40分前に集合する。
- 全生徒の集合後、点呼や各クラスの準備時間は30分とする。
- 合唱コンクール委員は、コンクール終了後、20分間でホールのそうじと片付けを行った。しかし、時間がたりなかったので来年は30分間にする。

〔資料3〕 去年の「当日の流れ」

時刻	スケジュール
13:00	委員のみ 集合
13:30	全生徒 集合
14:00	開演 第1部（8クラスの出演）
15:12	休み時間①
15:27	第2部（7クラスの出演）
16:30	休み時間②
16:45	表彰
17:00	全生徒 解散
17:00	委員のみ 片付けのため集合
17:20	委員のみ 解散

(3) 〔会話文2〕と〔資料2〕〔資料3〕を参考にして、(あ)～(う)の各問いに答えましょう。

(あ) 〔会話文2〕下線部①の、今年の合唱の時間と入場と退場の1クラスにかかる時間の合計は何分か答えましょう。

(い) 最初のクラスの入場から、休み時間もふくめて、全生徒の解散までの今年の時間は何時間何分か答えましょう。

(う) 去年の合唱コンクール委員の反省をいかして、〔資料3〕の表のように解答用紙に記入し、今年の「当日の流れ」を完成させましょう。

〔会話文3〕

委員長 「他に決めておく必要があるものはありますか？」

副委員長 「本番1週間前から始まる昼休みの練習表を作らないといけないと思います。去年は、早い者勝ちで混乱が起きていました。」

先生 「そうですね。事前に時間と場所を指定した練習表をつくると、混乱なく平等に練習ができますね。」

委員長 「練習場所は、大きな音楽室と小さな音楽室、それから校舎の玄関ホールげんかんのピアノも使いたいと思います。」

副委員長 「放課後も練習したいですね。」

委員長 「部活動の練習もあるため、あまり長い時間は練習できないと思います。」

先生 「放課後の練習は、帰りの会の前に行い、練習後に帰りの会ができるよう、先生方に伝えま  
す。そうすると15分の練習時間は取れます。」

委員長 「②全クラスにできるだけ納得なっとくしてもらえるよう、しっかりと練習表を作り、合唱コンク  
ールを成功させましょう！」

〔資料4〕 委員長の記録した練習表作成のためのメモ

【練習時間】 1クラス1回あたりの練習時間は15分とする。

【練習場所】

音楽室 大 練習場所として最もよい

音楽室 小 練習場所としてよい

玄関ホール 練習場所としてあまりよくない

※1つの場所に同時に2クラス以上で使用することはできない。

【気をつけること】

全クラスができるだけ納得できるようにふり分ける。

〔資料5〕 学年ごとのクラス数

1年生 (5クラス)

1のA～1のE

2年生 (6クラス)

2のA～2のF

3年生 (5クラス)

3のA～3のE

(4) 〔会話文3〕と〔資料4〕,〔資料5〕をもとに、(あ)と(い)に答えましょう。

(あ) 下線部②にあるように、解答用紙の練習表を完成させましょう。

(い) 練習表を作成するとき、どのように工夫したかを書きましょう。

(例)

練習表		月	火	水	木	金
昼 休 み	音楽室大	1のA	3のC			
	音楽室小	2のD	1のB			
	玄関ホール					

- 2 いちろうさんとお父さんが、自転車について話をしています。〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(6)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

いちろう「中学生になったら、自転車で行ってみたいところがあるんだ。」

お父さん「それは、いいね。」

いちろう「まわりの友だちも、自転車を新しく買う人が増えているんだ。」

お父さん「みんなでサイクリングに行けるといいね。でも、運転にはじゅうぶんに気をつけるんだよ。

ちょっと、自転車のことについて考えてみようか。①〔資料1〕でわかるように、日本での「人口」は減少傾向にあるのに、「自転車保有台数」を見ると、自転車を持つ人が増加傾向にあるんだよね。」

いちろう「本当だね。なぜ増えているんだろう？」

〔資料1〕日本の人口と自転車保有台数

	人口(万人)	自転車保有台数(万台)
2010(平成22)年	12741.3	6988.3
2011(平成23)年	12779.9	7014.1
2012(平成24)年	12751.5	7047.2
2013(平成25)年	12729.8	7155.1
2014(平成26)年	12708.3	7185.4
2015(平成27)年	12687.6	7222.5
2016(平成28)年	12693.2	7238.3

(国土交通省「自転車の活用の推進に関する現状の取り組みについて」より作成)

- (1) 〔会話文1〕の下線部①のように、自転車を持つ人が増えている理由として、考えられることを書きましょう。

〔会話文2〕

お父さん「自転車は便利な乗り物だけど、危険なことも多いよね。」

いちろう「学校でも、交通安全教室があったよ。」

お父さん「それは、交通事故を少しでもへらそうとしているんだね。〔資料2〕〔資料3〕を見て、日本での事故の特徴を考えてみよう。日本での交通事故死者数の割合は他の主要国と比べると、大きなちがいがああるよ。」

いちろう「日本の交通事故死者数の割合は、②」

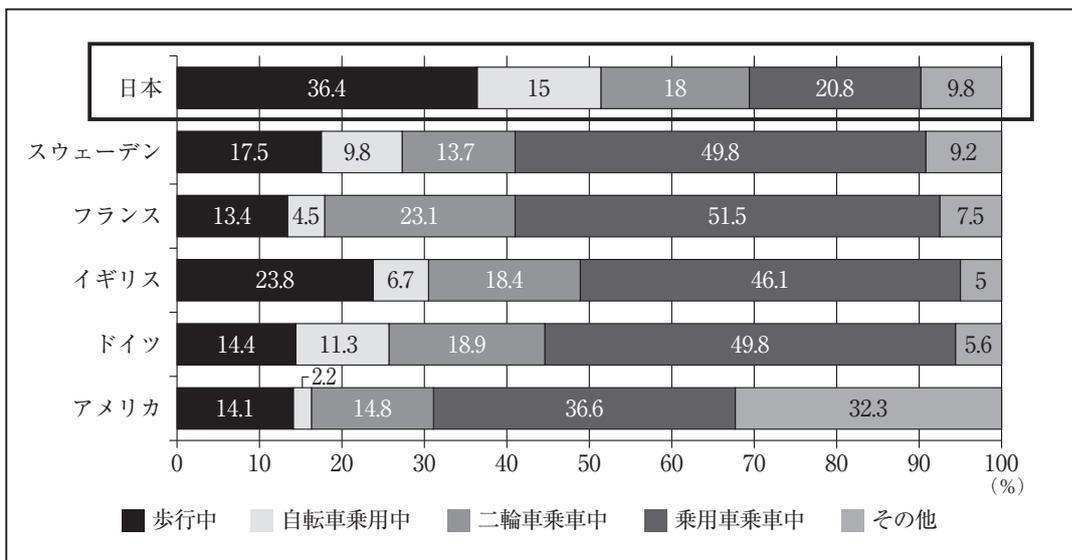
お父さん「中学生の自転車乗用中の死傷者数は、65歳以上の自転車乗用中の死傷者数の、約③倍なんだね。」

いちろう「自転車で、ものすごく速いスピードで運転している人もいるよ。」

お父さん「それは絶対にしてはいけないね。急いでいるからといって、事故を起こしてしまうと、大変なことになるよ。自転車による死亡事故も発生しているからね。」

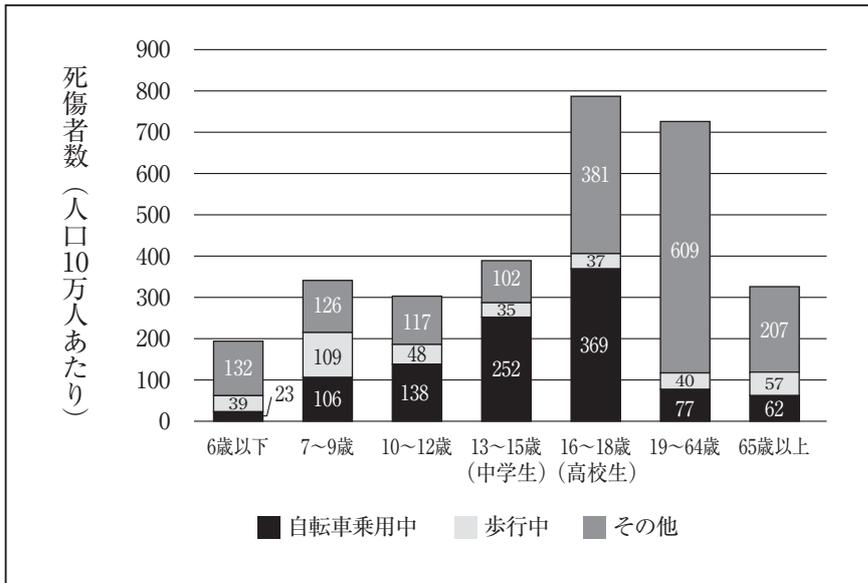
いちろう「自転車に乗る時は安全第一で運転することが大切なんだね。」

〔資料2〕 主要国における状態別の交通事故死者数の内訳



(国土交通省「交通事故のない社会を目指した今後の車両の安全対策のあり方について」より)

〔資料3〕 人口10万人あたりの<sup>ねんれい</sup>年齢別死傷者数（平成26年）



（国土交通省「<sup>かんきょう</sup>自転車利用環境の整備」より）

(2) 〔会話文2〕の ㉔ にあてはまるものとしてまちがっているものを、次の中より1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 他の主要国とちがって、歩行中が最も高くなっているね。
- イ 歩行中と自転車乗用中を合わせると、50%以上になるね。
- ウ アメリカよりも、乗用車乗車中の割合が高くなっているね。
- エ イギリスよりも、自転車乗用中の割合が高くなっているね。

(3) 〔会話文2〕の ㉕ にあてはまる数字として最も近いものを、次の中より1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 2      イ 4      ウ 6      エ 8

〔会話文3〕

お父さん「自転車を運転する人も、守らなければならないルールがたくさんあるんだよ。自転車は原則、歩道ではなく車道を通行することになっているんだ。」

いちろう「でも、歩道を自転車で走る人は多いよ。」

お父さん「だから、最近になって、〔資料4〕のような道路が増えてきたんだ。特に都市部でこのような道路が多くなってきているけど、これは自転車が通行すべき道路を表示したものだね。自転車の走る場所を明確にしたんだ。」

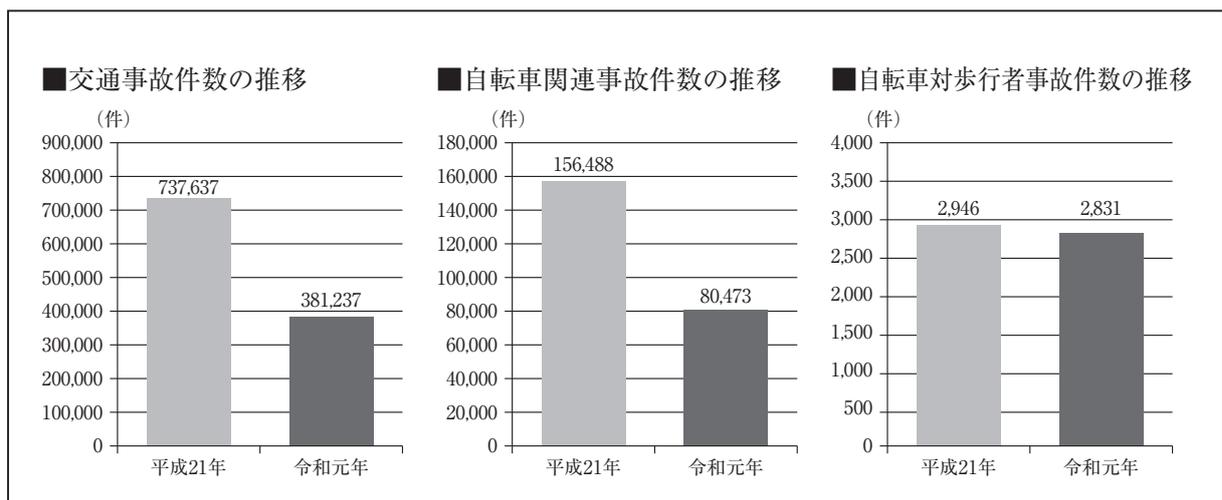
いちろう「これからもっと増えていくのかな。」

お父さん「そうだね、このように道路を整備することが多くなると思うよ。」

〔資料4〕



〔資料5〕



(国土交通省「自転車利用環境の整備」より)

- (4) [資料4] のような道路を増やし、自転車が走る場所を明確にしている理由を、[資料5] のグラフを参考にして考えて書きましょう。
- (5) [資料4] のような道路にも問題点があります。自動車を運転する人と、このような道路を整備する自治体の立場から考えられる問題点を、それぞれ書きましょう。

問題は次のページに続きます。

#### 〔会話文4〕

お父さん「国や都道府県・市町村でも、自転車を推進する動きがみられるね。」

いちろう「これからも、自転車に乗る人が増えてくると思うから、自転車に乗りやすい環境が整備されるといいね。」

お父さん「国連サミットで決められたSDGs（持続可能な開発目標）を考えて、自転車を推進する政策も増えてきたんだ。」

いちろう「SDGsには「住み続けられるまちづくりを」という項目があるね。〔資料6〕」

お父さん「自転車のこともふくめて、これからも住み続けられるまちづくりが進むといいね。」

#### 〔資料6〕SDGs17の目標より抜粋



#### 〔資料7〕「目標11のターゲット」

- 11-1 2030年までに、すべての人が、住むのにじゅうぶんで安全な家に、安い値段で住むことができ、基本的なサービスが使えるようにし、都市の貧しい人びとが住む地域（スラム）の状況をよくする。
- 11-2 2030年までに、女性や子ども、障がいのある人、お年寄りなど、弱い立場にある人びとが必要としていることを特によく考え、公共の交通手段を広げるなどして、すべての人が、安い値段で、安全に、持続可能な交通手段が使えるようにする。
- 11-3 世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保っていくための努力を強化する。
- 11-4 2030年までに、大気の水質やごみの処理などに特に注意をはらうなどして、都市に住む人（一人あたり）が環境にあたえる影響を減らす。
- 11-5 2030年までに、貧しい人びとや特に弱い立場にある人びとを守ることを特に考えて、水害などの災害によって命を失う人や被害を受ける人の数を大きく減らす。世界の国内総生産（GDP）に対して災害が直接もたらす経済的な損害を大きく減らす。
- 11-6 2030年までに、特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などをふくめて、だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所が使えるようにする。

（公益財団法人日本ユニセフ協会「ホームページ」より作成）

- (6) 「住み続けられるまちづくりを」について、あなたができることはどのようなことがありますか。〔資料7〕を参考にして、考えられる活動を具体的に1つあげ、その理由もあわせて100字以内で書きましょう。

受験番号	氏名

1

(1)

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

(2)

--

(3)

(あ)		分	(い)	時間	分
-----	--	---	-----	----	---

下の欄には  
記入しない

--

1

(1)

--

(2)

--

(3)

--

--

(う)

時刻	スケジュール

(4)

練習表		月	火	水	木	金
(あ)	昼	音楽室大				
	休み	音楽室小				
		玄関ホール				
(い)	放	音楽室大				
	課	音楽室小				
	後	玄関ホール				
	工夫したこと					

下の欄には  
記入しない

(う)

--

(4)

--

--

2

(1)

Large empty rectangular box for item (1).

(2)

Small empty rectangular box for item (2).

(3)

Small empty rectangular box for item (3).

(4)

Large empty rectangular box for item (4).

下の欄には  
記入しない

2

(1)

Small empty rectangular box for item (1) on the right side.

(2)

Small empty rectangular box for item (2) on the right side.

(3)

Small empty rectangular box for item (3) on the right side.

(4)

Small empty rectangular box for item (4) on the right side.

Large empty rectangular box for item (4) on the right side.

(5)

自動車 を運転 する人 の立場	
自治体 の立場	

(6)


下の欄には  
記入しない

(5)

Small empty rectangular box for item (5) on the right side.

(6)

Small empty rectangular box for item (6) on the right side.

Large empty rectangular box for item (6) on the right side.